

京都市子ども安全ネットワークニュース

vol. 2 平成16年7月 発行：京都市子ども安全会議事務局

(教育委員会体育健康教育室 213-5472)

子どもたちの安全を守るために、今こそ行動を！

子ども安全統括官・生涯学習部長 中嶋晴彦



連日、子どもたちを巻き込んだ事件や事故が発生する中、子どもたちを守るために、学校・家庭・地域・各種団体等が連携を深め、私たち大人一人一人が今こそ行動を起こさなければなりません。

長崎県の痛ましい事件の際には、直ちにPTAや人づくり21世紀委員会等の代表の方も入って緊急連絡会議を開き、緊急アピール～「いのちの大切さ」を教え、「人を思いやる心」を育てるために～を発信し、子どもたちのために何をなすべきかをともに考え行動しようとして強く訴えました。

子ども安全会議でも、会議の議論を踏まえ、公用車への安全ステッカーの貼付や各家庭で親子で話し合っていたためのリーフレット「子どもが事件や事故にまきこまれないために」の配付を行いました。また、情報発信を重視し、「京都市子ども安全ネットワークニュース」を発刊し、子どもの安全確保のための保護者・地域のボラン

ティアによる活動事例を掲載したところ、これがさらに各校・園での取組の拡がりにつながり、大変心強く思っています。

先日、学校訪問をした折、校門付近で来校者の受付をされているボランティアの方が、「子どもたちの安全を守るために地域ぐるみで行動したいと思っている。子どもと地域の大人とが毎日学校で顔を合わせ、声をかけ合うことから、地域の再生の第一歩としたい。」と言われたことが強く印象に残っています。

保護者や地域の方々とのパートナーシップの下、地域ぐるみで子どもの安全を守る取組は、まさに人と人との豊かな関わり合いを中軸に据えた新しい地域コミュニティーの構築につながるものです。各学校・園・地域での実情に応じた取組がさらに拡がることを期待しています。

親子で安全な生活について話し合おう！！

～ 第2回京都市子ども安全会議 ～

7月2日、第2回会議が開催され、学校・園内外における子どもの安全確保に関する取組事例の紹介と活発な論議が行われました。

その中で、子どもが誘拐や痴漢などの事件や事故の被害にあわないために注意することや、万一、身の危険を感じたときの対処の仕方などについて記載した、親子で活用してもらえらるリーフレット「子どもが事件や事故にまきこまれないために」を作成し、全保護者に配付することが決まりました。

各家庭において、このリーフレットをいつも見えるところに掲示してもらい、安全な生活について、親子での話題として取り上げ、一緒に考え、



普段からの心構えを身につけるようにするなど、活用してもらいたいと考えております。

このリーフレットは、7月中旬に各学校・園を通じて各家庭に配付されました。